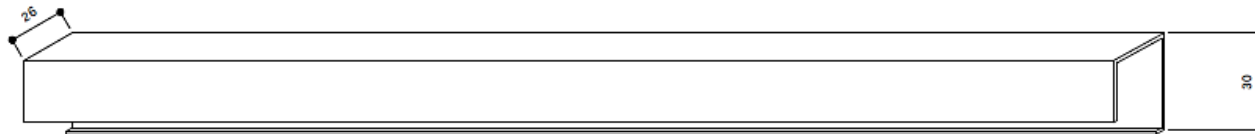
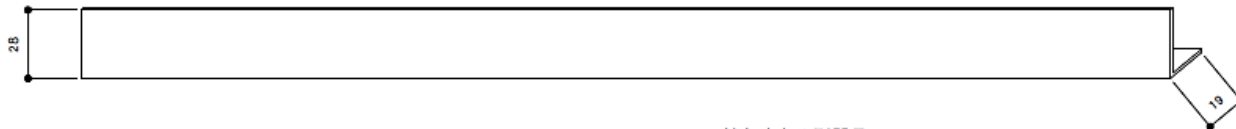


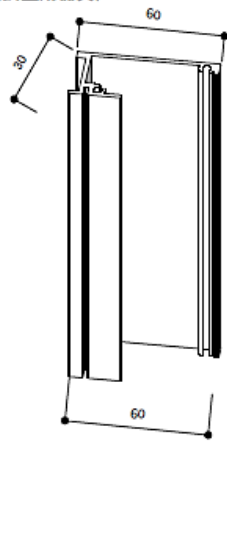
■ 上部レール



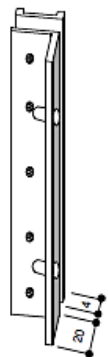
■ 上部レール蓋



■ 端部器具 (9mm孔付)
(調整用器具)



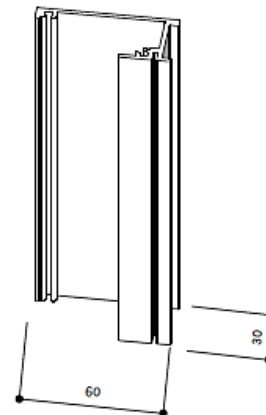
■ 端部内部II型器具
(M5インサートナット付)



■ 端部内部II型器具
(5mm孔付)



■ 端部器具 (孔無し)
(免震バネ用)



■ 底蓋 (調整用)



■ 調整用ヘックスボルト T20



■ M4x10又は12ボルトナット



■ 吊り金具



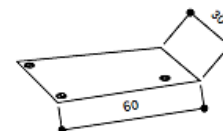
■ 免震バネ



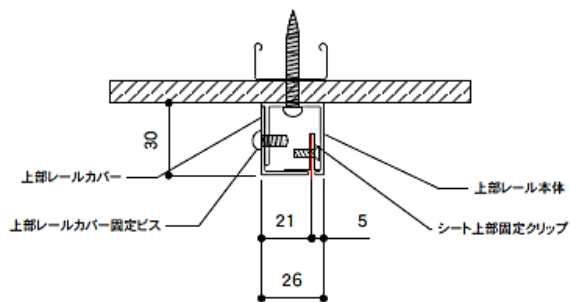
■ 免震バネ用ボルトナットM5



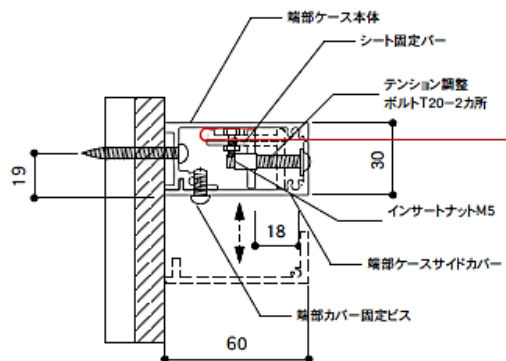
■ 底蓋 (免震用)



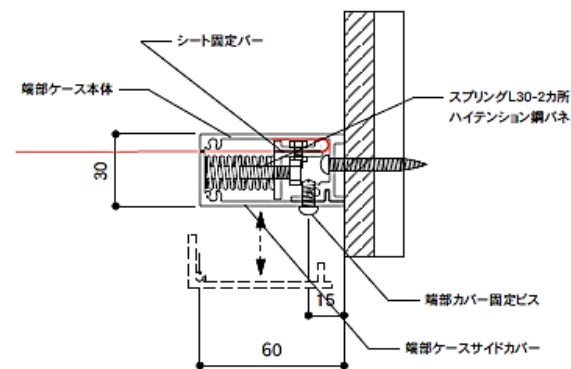
[上部レール]



[端部ケース
調整ボルト側]



[端部ケース
スプリング側]

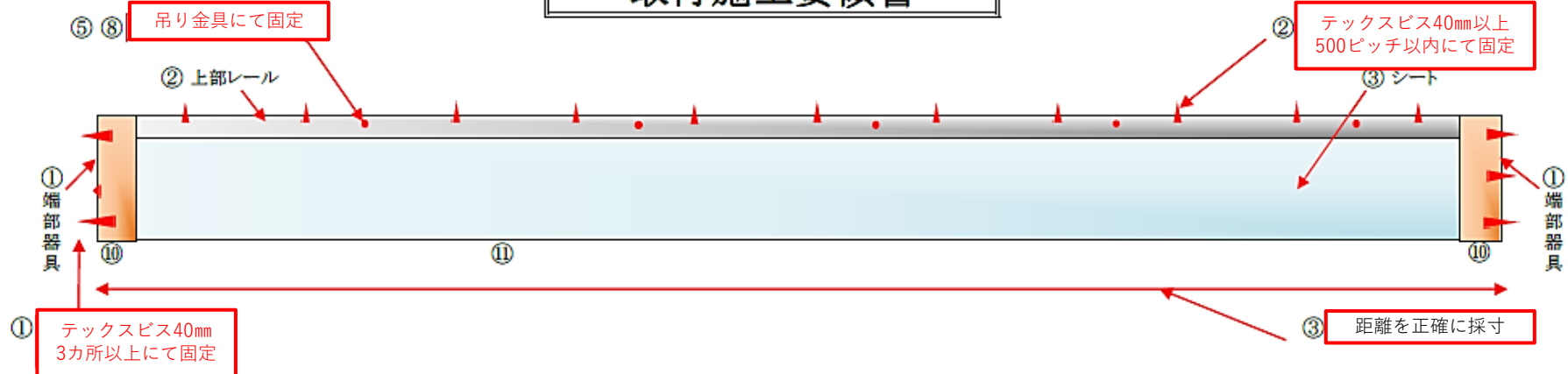


■ ガラス撤去

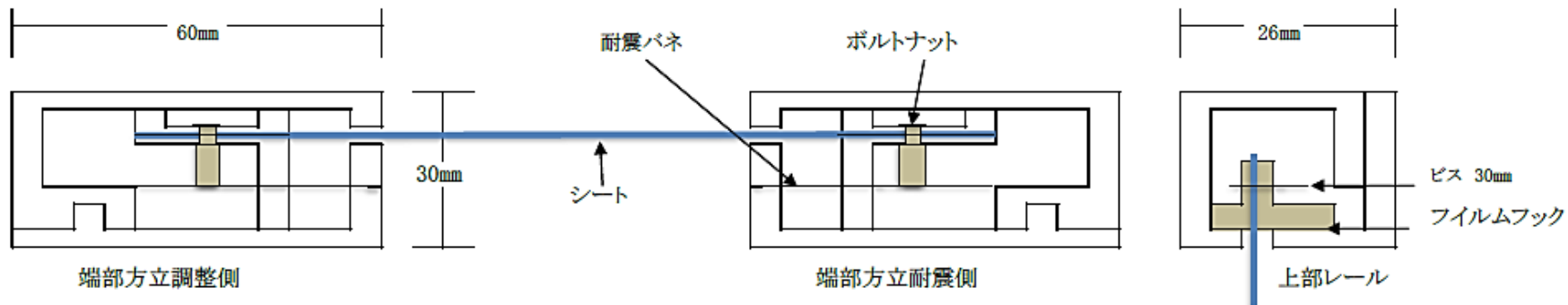


- * 商品及び什器の養生
- * 仮設材の設置(什器等への接触に注意)
- * 下部レールの取外し
- * 各シール切り(シールごみの散乱に注意)
- * ガラスの取外し(ガラスの落下に注意)
- * ガラスの受け渡し(持ち運びに注意)

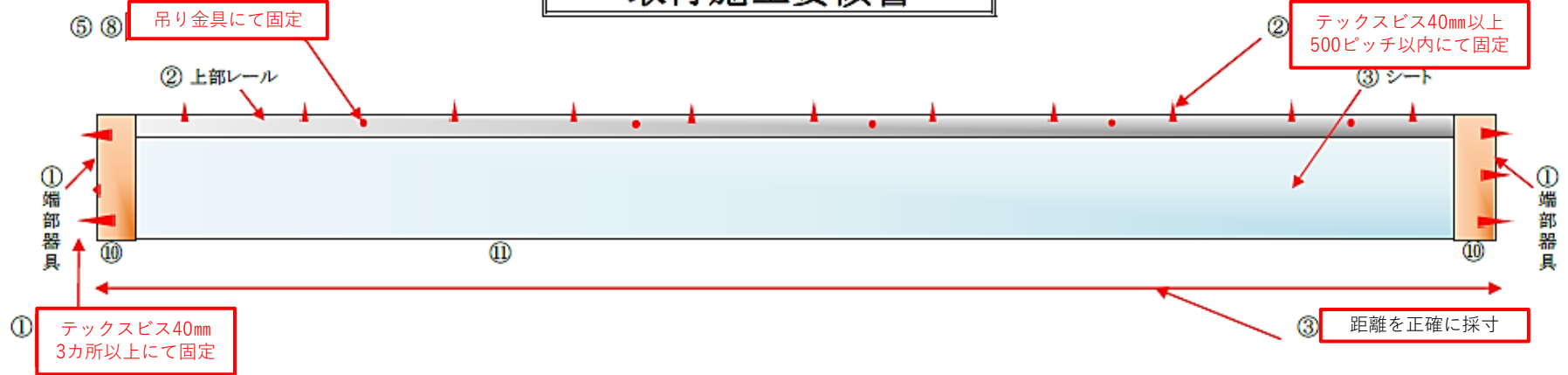
取付施工要領書



- ① 1スパンの最大長に関して $H \times W = 10\text{m}^2$ 以下を基準とする。例) H500の場合は20Mまで、H300の場合は30M程度、H800の場合は10M程度とする。
- ① 端部器具の平行を確認し、壁・柱面に取り付ける。(上中下3ヶ所以上のビスにて固定(テックスビス40mm以上))
- ② 上部レールを端部器具の中心線と上部レールの中心線に合わせて取り付ける。(テックスビス40mm以上にて固定(500ピッチ以内))
- ③ 柱間の寸法の距離を正確に採寸し、計測値-40mmにてシートをカットする。**※例) 柱間の寸法、8,670mmの場合 8,670mm-40mm=8,630mmにカット**
- ④ 端部内L型器具にシート端部左右を、両面テープ及び付属のボルトナット(M3×12)にて挟み込み固定する。
- ⑤ シート上部の中心より左右に800〜ピッチで、吊り金具を装着する。(吊り金具は同梱の3mmビスにて固定)
- ⑥ 端部内L型器具(調整側)に調整ボルトを装着、端部内L型器具(免震側)に免震バネ及び免震用ボルトナット・ワッシャーを装着する。
- ⑦ 端部器具の横側より端部内L型器具をはめ込み、横蓋を取り付けビスにて固定する。(端部L型器具は上下の向きに注意)
- ⑧ 調整用ボルト(ヘックスレンチT20用使用)にてテンションを調整する。
- ⑨ 上部レールに吊り金具を引っ掛けた後、上部レール蓋を取り付ける。(同梱のM3.5×10タッピングビスにて400ピッチで固定、2Mで5カ所)
- ⑩ 底蓋を付属の3mmビスにて取り付け。
- ⑪ 養生テープを剥がし完了。



取付施工要領書

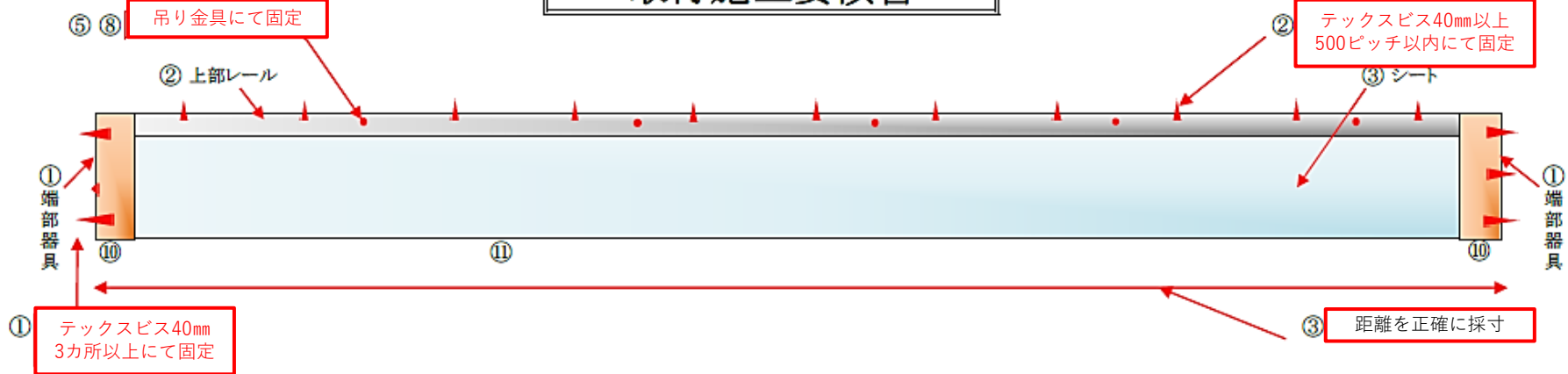


- ⑩ : 1スパンの最大長に関して $H \times W = 10\text{m}^2$ 以下を基準とする。
例) H500の場合は20Mまで。H300の場合は30M程度、
H800の場合は10M程度とする。
- ① : 端部器具の平行を確認し、壁・柱面に取り付ける。
(上中下3ヶ所以上のビスにて固定 (テックスビス40mm以上))



水平垂直確認

取付施工要領書



- * 上部レール(真物2000mm)をビス(4×40)にて500mmピッチで取り付け(隙間に注意)
- * 役物上部レールを採寸し、押切カッターにて加工し取り付け(寸法に注意)
- * 端部器具と上部レールの中心を合わせて取付



②：上部レールを端部器具の中心線と上部レールの中心線に合わせて取り付ける。
(テックスビス40mm以上にて固定(500ピッチ以内))

取付施工要領書

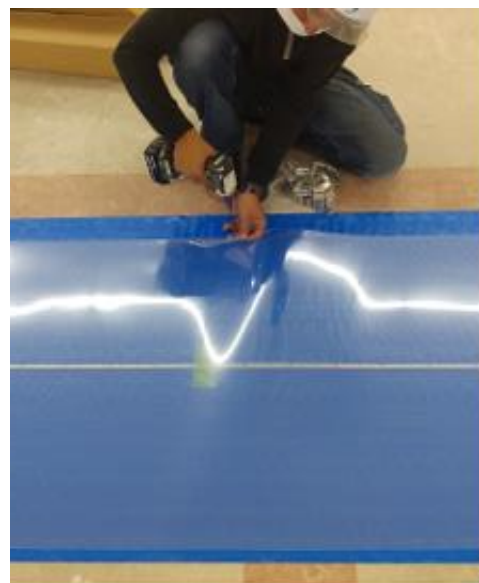
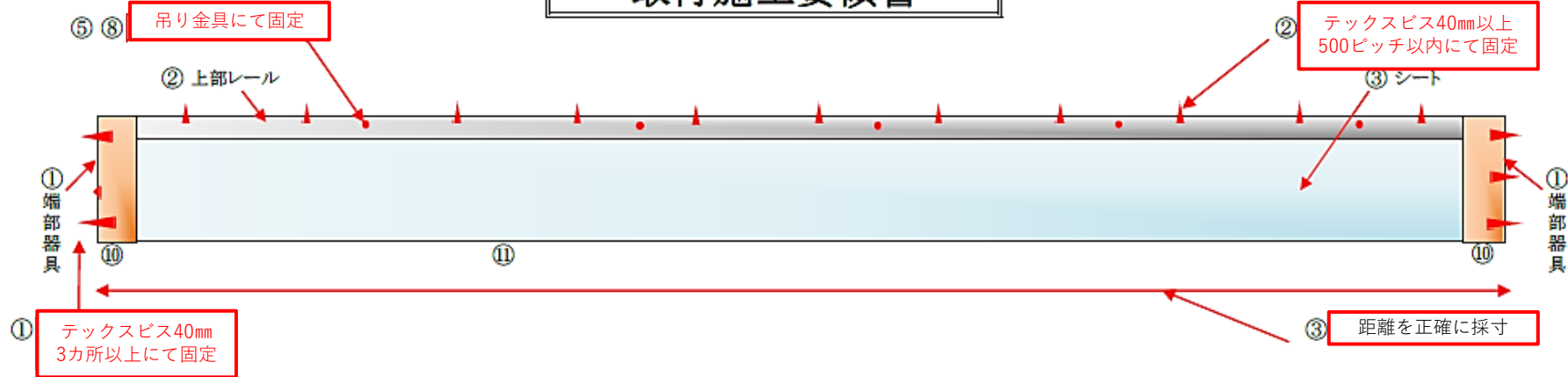


③：柱間の寸法の距離を正確に採寸し、計測値 - 40mmにてシートをカットする。

※例) 柱間の寸法、8,670mmの場合 $8,670\text{mm} - 40\text{mm} = 8,630\text{mm}$ にカット

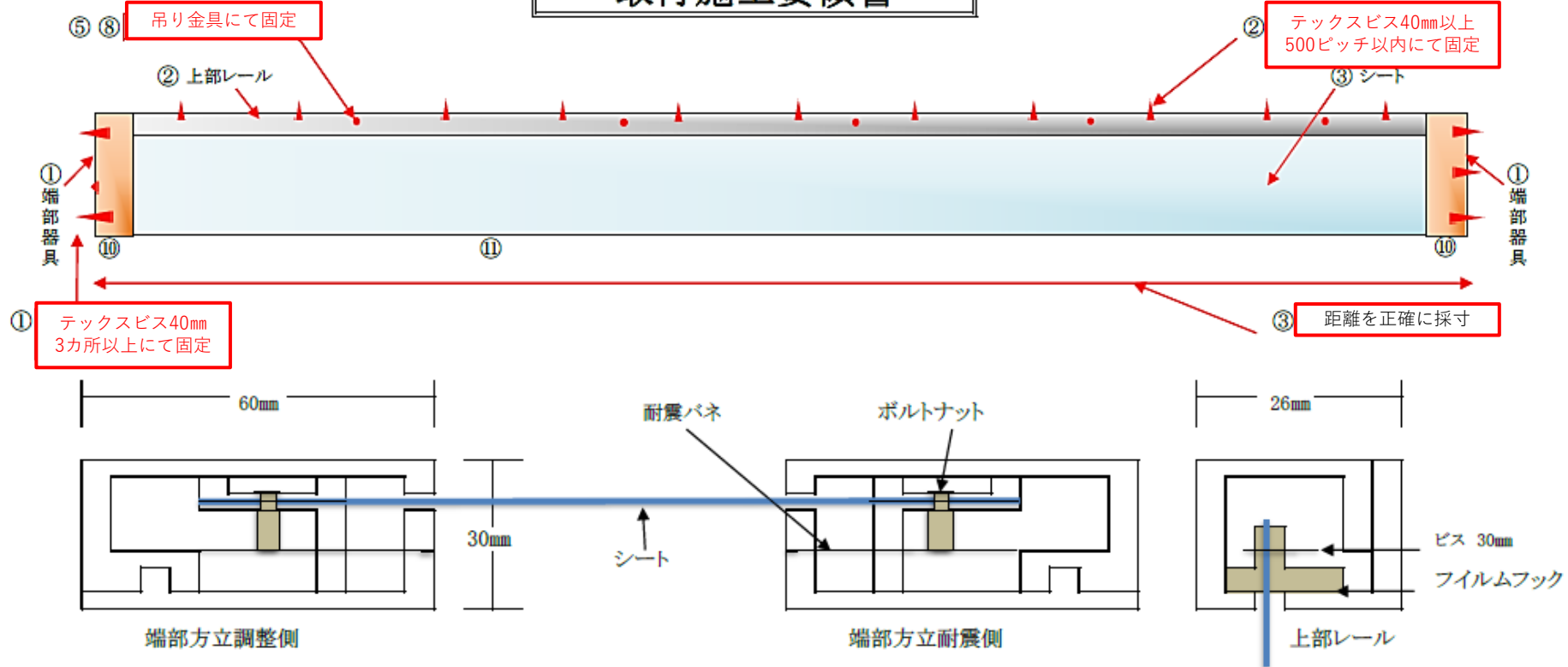
④：端部内L型器具にシート端部左右を、両面テープ及び付属のボルトナット (M3×12) にて挟み込み固定する。

取付施工要領書



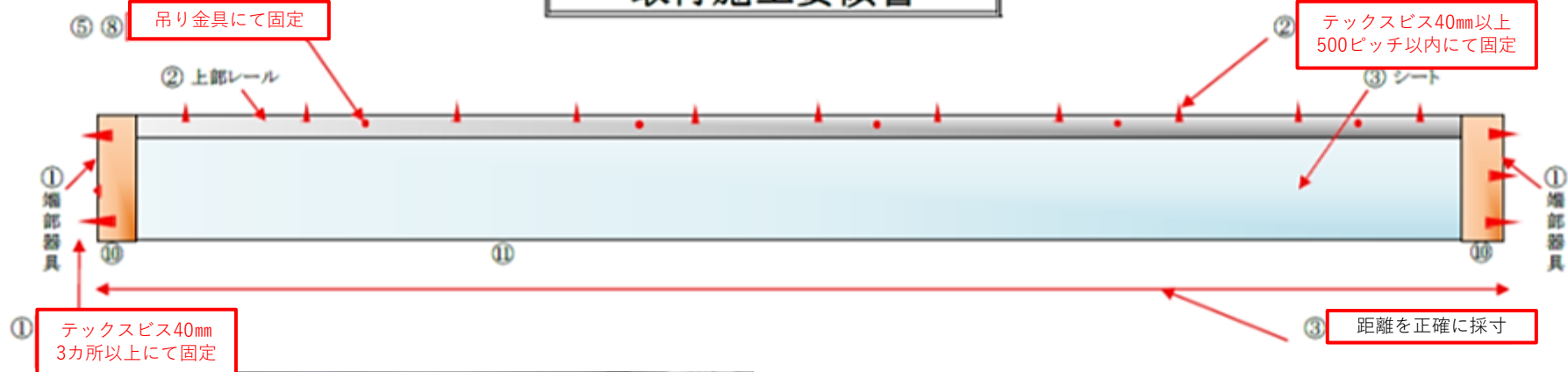
- ⑤：シート上部の中心より左右に800～ピッチで、吊り金具を装着する。
(吊り金具は同梱の3mmビスにて固定)

取付施工要領書



- ⑥：端部内L型器具（調整側）に調整ボルトを装着、端部内L型器具（免震側）に免震バネ及び免震用ボルトナット・ワッシャーを装着する。
- ⑦：端部器具の横側より端部内L型器具をはめ込み、横蓋を取り付けビスにて固定する。
(端部L型器具は上下の向きに注意)

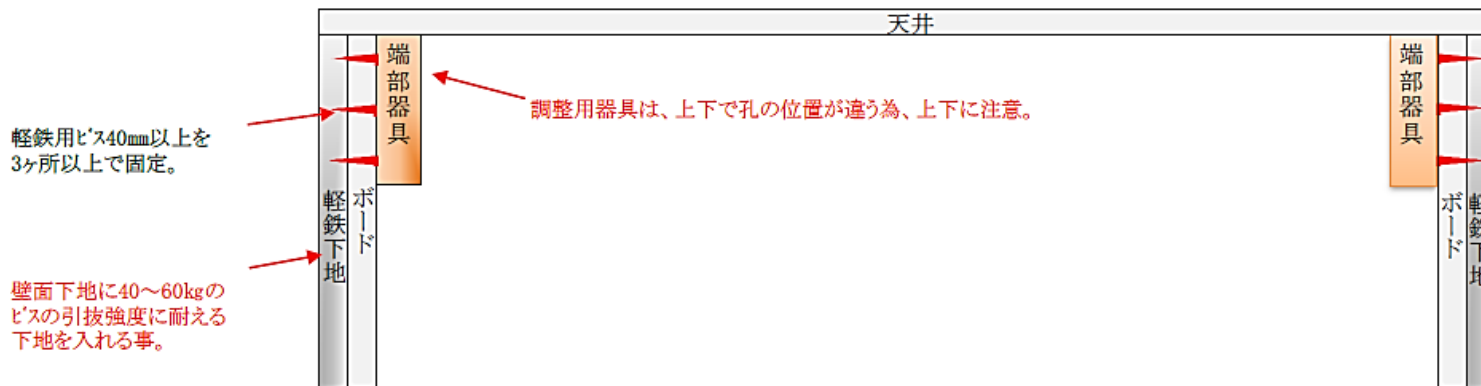
取付施工要領書



- ⑧：調整用ボルト（ヘックスレンチT20用使用）にてテンションを調整する。
- ⑨：上部レールに吊り金具を引っ掛けた後、上部レール蓋を取り付ける。
（同胞のM3.5×10タッピングビスにて400ピッチで固定、2Mで5カ所）
- ⑩：底蓋を付属の3mmビスにて取り付け。
- ⑪：養生フィルムを剥がす

端部器具及び上部レール取付部分の施工方法

- 1. 端部器具の平行を確認し、壁・柱面に取り付ける。(上中下3ヶ所以上のビスにて固定(テックスビス40mm以上))

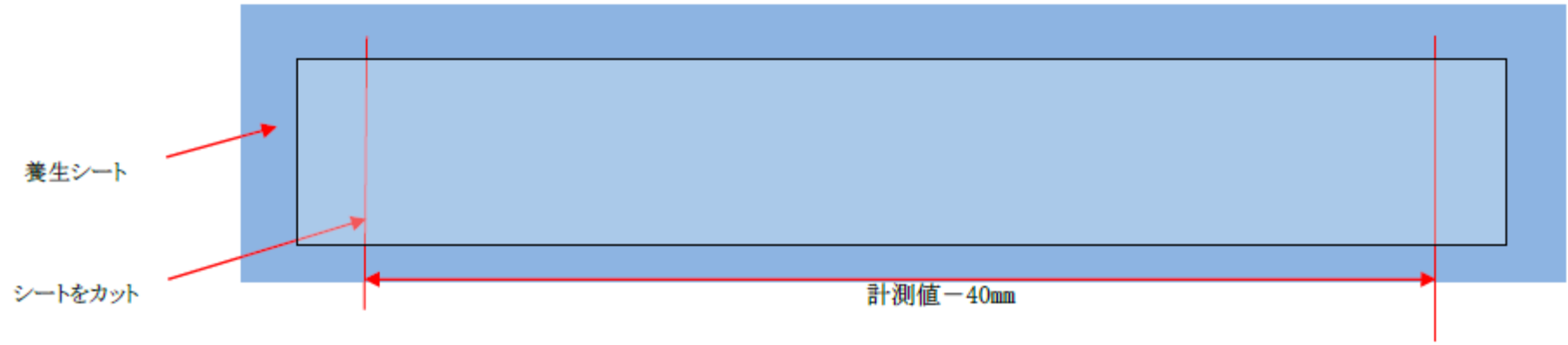


- 2. 上部レールを端部器具の中心線と上部レールの中心線に合わせて取り付ける。(テックスビス40mm以上にて固定(500ピッチ以内))



シートカット及び端部内L型器具取付部分の施工方法

■3. 計測値-40mmにてシートをカットする。※例)柱間の寸法、8,670mmの場合 $8,670\text{mm} - 40\text{mm} = 8,630\text{mm}$ にカット



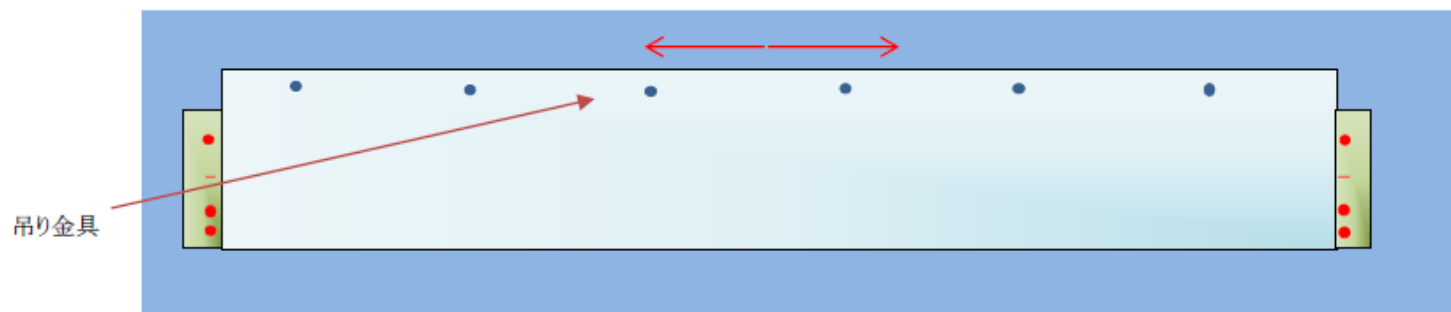
■4. 端部内L型器具にシート端部左右を、両面テープ及び付属のボルトナット(M4×10又は12)にて挟み込み固定する。



※L型金具はフィルム下端に合わせる。

シート取付部分の施工方法

- 5. シート上部の中心より左右に800～ピッチで両面テープを張付けた後、吊り金具を装着する。(吊り金具は同梱の3mmビスにて固定)



中心より左右に800～ピッチにて、両面テープ及び吊り金具装着。

テンション調整及び各部納まりの施工方法

- 7. 端部器具の横側より端部内L型器具をはめ込み、横蓋を取り付けビスにて固定する。(端部L型器具は上下の向きに注意)



- 8. 調整用ボルト(ヘックスレンチT20用使用)にてテンションを調整する。
- 9. 上部レールに吊り金具を引っ掛けた後、上部レール蓋を取り付ける。(同胞のM3.5×10タッピングビスにて固定)
- 10. 底蓋を付属の3mmビスにて取り付け。



パラスモーク テンションタイプ 施工仕上がりチェック表

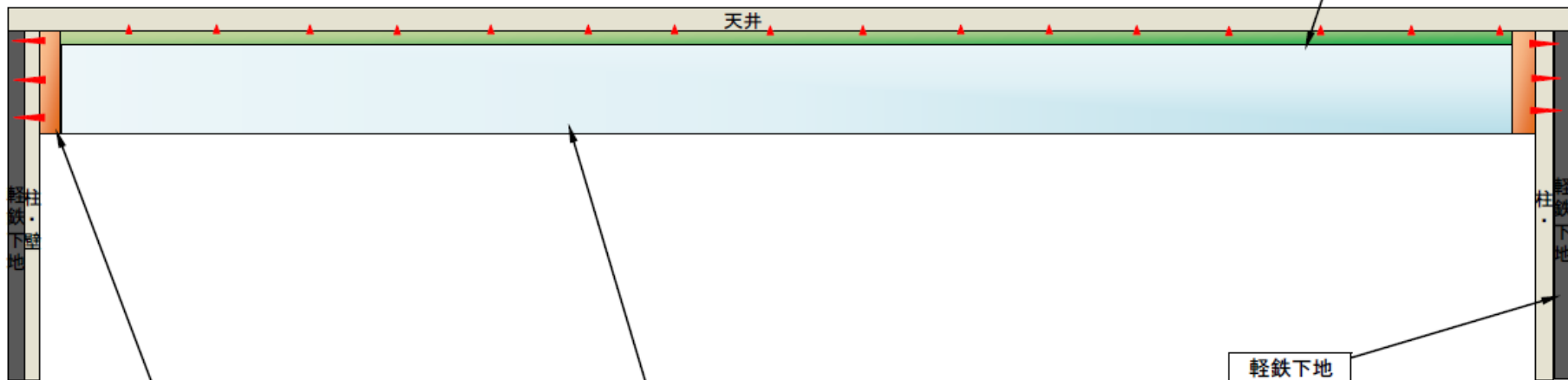
物件名 : _____

■ 施工後検査

・施工範囲、加工場の清掃は行われているか	
・養生の撤去漏れはないか	
・資材、工具、足場が現場に残されていないか	
・休憩所はキレイに片付けられているか	

■ 上部レール(新規)

・スキマは出来ていないか	
・シートは上部レールに納まっているか	
・天井面の納まりに問題はないか	
→スキマ、汚れ、塗装の剥げ等	
・汚れていないか	



■ 端部方立

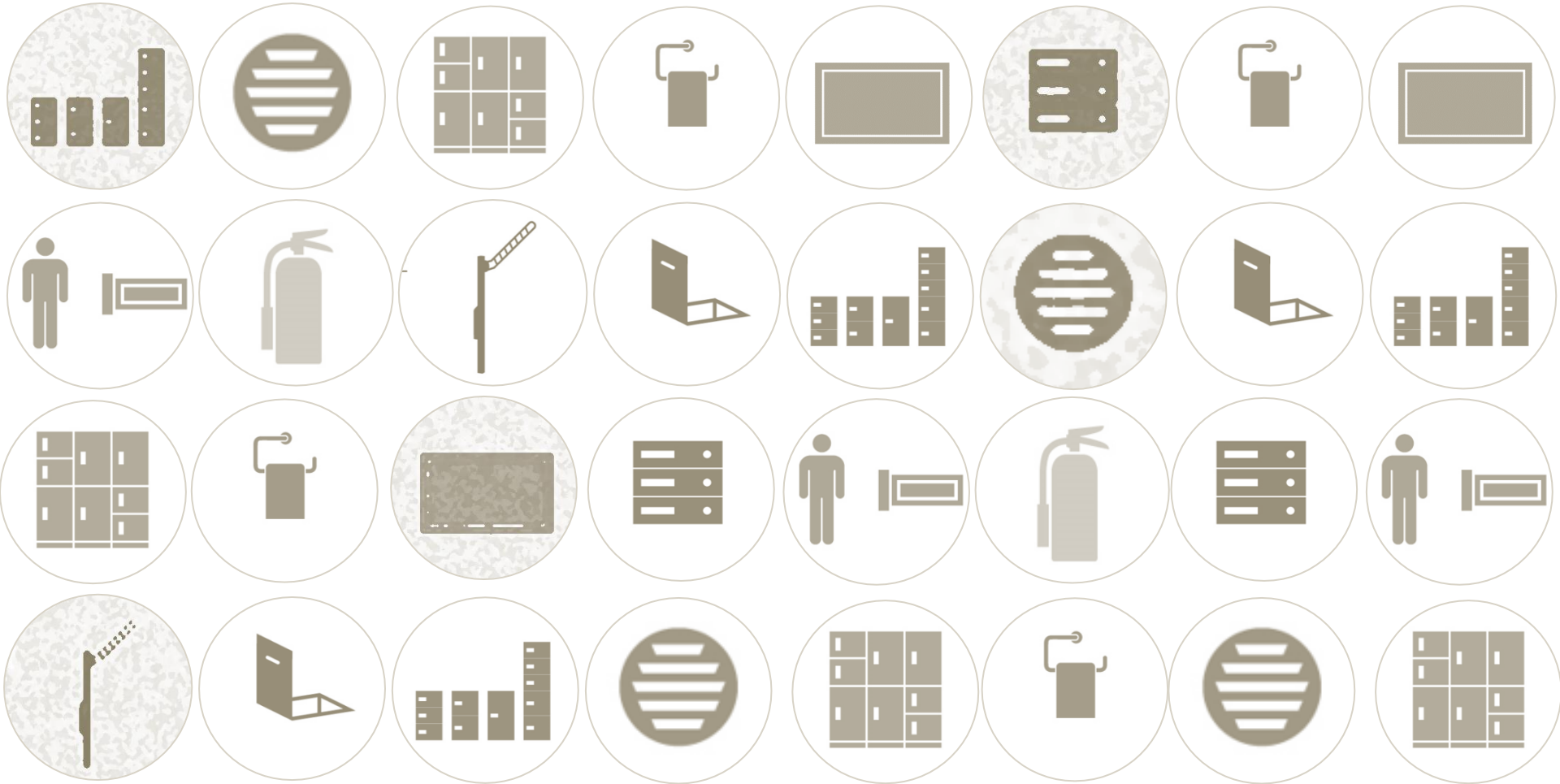
・シートは方立内に納まっているか	
・壁面の納まりに問題はないか	
→スキマ、汚れ、クロスめくれ、塗装の剥げ等	
・端部方立の傾きはないか	

■ シート

・シートに汚れ、キズはないか	
・シートに弛みによるシワはないか	
・シート上部の吊り金具の付け漏れはないか	
・シートの長さは適切か	
・養生フィルムは撤去されているか	

会社名 : _____

確認者 : _____



豊かな社会へのパートナー 神栄グループ

神栄ホームクリエイト株式会社

本社 〒577-0016 大阪府東大阪市長田西2丁目3番34号
TEL(06)6789-2321(代表) FAX(06)6789-2391

東京営業所 〒120-0015 東京都足立区足立4丁目13番9号ベルビュービルディング7F
TEL(03)5845-3870(代表) FAX(03)5845-3871

福岡営業所 〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1丁目8番6号第5ガーデンビル2F
TEL(092)432-8284(代表) FAX(092)432-8486

ガラス営業課 〒577-0016 大阪府東大阪市長田西2丁目3番34号
TEL(06)6789-2331(代表) FAX(06)6789-2332

<http://www.shinyei-shc.co.jp> E-mail:create@shc.shinyei.co.jp